

# 川崎市洪水ハザードマップ 多摩区版



## 「意識と準備が命を守る！」

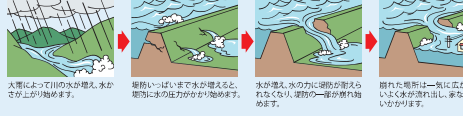
洪水ハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨によって河川が氾濫した場合の、洪水浸水想定区域や避難場所を示したものです。



## 洪水から身を守る

### ① 洪水発生メカニズム

● 洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を越えるなどして起こります。



### ② 洪水浸水想定区域の考え方

- すべての浸水点（堤防が決壊すると想定したところ）について、どう浸水し浸水するかを予想します。
- すべての予想結果を重ね合わせ、最大の区域と深さを表示しています。
- 実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がり、徐々に深くなります。

### ③ 都市型水害について知る

- 大規模な洪水以外でも、都市は舗装された道路や宅地が多く、降った雨は地中に浸透しにくいため、川や水路、下水道に一気に集まります。そのため、次のような危険がありますので注意しましょう。
  - 低地の水害
  - 低地や遠水のアンダーパス\*で浸水が起こり、車が立ち往生し水没する危険があるため、通らないでください。
  - 地下への浸水
    - ① 水で足がつかない
    - ② 一層の水が流れ込む
    - ③ 外の排水がつかず逃げ遅れるなど、命に関わる危険があるため、早めの避難が必要です。
- (中小河川の増水氾濫)
  - 都市の河川は、急に増水し、流れが速くなり、溢れが起きやすいため、避難先が近所など、逃げ遅れやすい状況になります。
  - 逃げ遅れやすいため、大雨のときは近づかないでください。
- (過去の浸水)
  - 過去の浸水があった所は、大雨のとき、またたび浸水するおそれがあります。事前に確認し、避難する際はここをよけてください。
  - 過去の浸水(浸水実績)については、川崎市防災情報ポータルサイトから確認できます。

### ④ 洪水から身を守る

- 洪水の危険が迫った際には、川崎市から対象の地域に避難を呼びかけます。
- お住まいの環境によって、適切な避難行動に違いがありますので、右ページの判断フローを参考に、ご自身の避難行動や避難先をあらかじめ検討しておきましょう。

## 我が家の防災メモ

ハザードマップを使って我が家の防災メモを完成させましょう！！

### ① 自宅の災害リスク

● 地図を確認して、該当するところに○印を記入しましょう

	浸水無し	0.5m未満	0.5~3.0m未満	3.0~5.0m未満	5.0~10.0m未満	10.0~20.0m未満
洪水(多摩川水系)						
洪水(鶴見川水系)						
土砂災害警戒区域						

※多摩区において、鶴見川水系による浸水は想定されていません。

### ② 避難方法

- 「状況に応じた避難行動」を確認し、避難方法を確認しましょう
  - 洪水からの避難
    - 室内待機 □ 立ち退き避難 □ 垂直避難 □ 屋内待機 □ 垂直避難 □ 水平避難

### ③ 避難場所と避難経路

● 避難方法が決まったら、避難場所と避難経路を確認しましょう

【避難場所】

【避難場所②】

【避難経路】

※避難場所と避難経路はそれぞれ複数決め、必要に応じて地図に書き込みましょう

### ④ 非常持出品

● 非常持出品の保管場所は、家族のみんなで共有しましょう

【保管場所】

### ⑤ みんなの約束

● 家族やご近所での約束事を記入しましょう

【家族の約束事】

【ご近所での約束事】

※避難に連携が必要など地域で協力しましょう

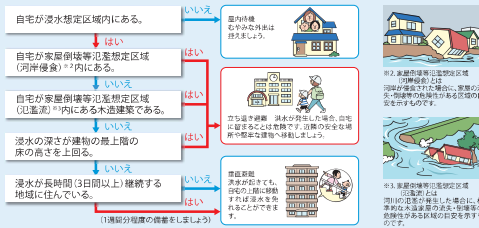
### ① 避難に関する情報

<b>避難準備・高齢者等避難開始</b> お住まいの身の回りや近所の方へ、避難の知らせをする方は避難を開始してください。その他の方は避難の準備を整えてください。	<b>避難勧告</b> 対象地域が示される地域の方に避難を勧めます。	<b>避難指示(緊急)</b> 対象地域が示される地域に避難してください。
---	---------------------------------------	--

### ② 水位に関する情報

水位	川崎市の対応
氾濫の発生	避難指示(緊急)を発令します。
氾濫危険水位	避難勧告を発令します。
避難開始水位	避難準備・高齢者等避難開始を発令します。
氾濫注意水位	水位情報を注視し、災害に備えます。
水防維持確保水位	水位情報を注視し、災害に備えます。

### ③ 状況に応じた避難行動



### ＜屋外に避難するときの注意事項＞

- 動きやすい服装を心がけ、靴はソレで縛られる運動靴を履くようにする。安全靴は足を取られないため必要です。
- 避難所に向かう途中で身の危険を感じた場合は、避難所に限らず近くの安全な場所や建物へ一時的に避難をします。
- 非常持出品(飲料水、食料、貴重品など)は、リュックサックなどに入れ、両手で使えますようにします。
- やむを得ず浸水している場所を移動する場合は傘、杖などを用意を。
- ※浸水している場所は、蓋の閉じたマンホールや水路、制凍などの配管の破れ等があり、足元の安全確保が必要です。

### ＜助け合い(互助)＞

- 近くにお住まいの高齢者、障害者、妊婦、乳幼児、外国人、または旅行者などと一緒に避難することが難しい方がいます。ご近所からご近所でコミュニケーションを取り、避難の際は、近所の方々と声をかけ合い協力しながら避難しましょう。

## 日頃の備え

### ① 家庭備蓄の充実

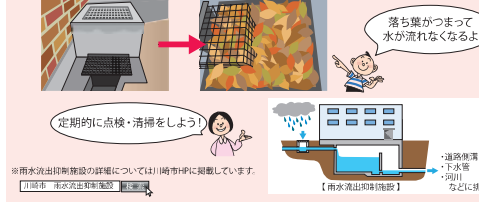
- 災害時には、ライフライン機能の低下など機器機能の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、出来れば7日間、自宅で過ごせる用意をしましょう。
- (飲料水)
  - 飲料水は1人1日3リットル必要です。
  - ペットボトルなどで、家族全員分の用意をおこないます。
- (食料)
  - お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものなるべく多く用意をおこないます。
  - 普段の生活の中で十分に使い過ぎ、賞味期限が来る前に消費しながらかん詰めしておきましょう。
  - 賞味期限が過ぎても、食料は食べることができます。(ローリングストック)
- (その他)
  - カセットコンロ(ボイラも忘れず)、簡易トイレ(汚物処理器)などを用意しておきましょう。

### ② 非常持出品チェックリスト

水・食料	□ 飲料水 □ 携行食・非常食 □ ビスケット・缶詰など
衣類・衛生	□ 厚着した衣類 □ 救急薬品 □ 生理用品 □ 曲アラシ口テープ用品 □ 防雨マスク
防災用品	□ 現金 □ 印鑑 □ 健康保険証・年金手帳 □ 印字機
安全対策	□ ヘルメット・防災ずきん □ 軍靴の靴 □ 軍手
道具類	□ 携帯電話・充電器 □ 携帯ラジオ □ 懐中電灯 □ 電池 □ 時計 □ 携帯カセットラジオ □ ライター・マッチ □ 缶切り □ ナイフ □ 入浴剤・暖かいタオル
その他	□ 上着(防寒着) □ 傘 □ 折り畳み自転車
非常持出品	□ ウェットティッシュ・ティッシュ □ タオル □ コスモ・ポリ袋

### ③ 施設内排水設備の定期的な点検

- 「雨水流出抑制施設」は大雨の時に雨水を一時的に貯留して下流へ少しずつ流す重要な施設です。落ち葉や土砂が詰まっていると水を排水できなくなるため、普段から点検をおこないます。
- 排水溝や道路側溝も路面排水を適切に行うための役割を担っています。



※雨水流出抑制施設点検については1時間半程度かかります。

【雨水流出抑制施設】

## ハザードマップの使い方

### ① 自宅を見つけましょう

自宅に洪水が来ると、逃げ遅れが起る可能性を確認しましょう。

### ② 避難する場所を確認しましょう

洪水や土砂災害からの避難方法を確認しましょう。立ち退き避難が必要な場合は、適切な避難先を確認し、大きき印をつけるなどして災害時に備えましょう。

### ⑤ 安全な避難経路を決めましょう

大雨の時に危険となる水路や橋、アンダーパス、浸水の危険がある箇所や土砂災害警戒区域などの場所を確認し、避難経路を複数決めましょう。

### ④ 実際に避難経路を歩いてみましょう

家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直しましょう。

### ⑥ 家族で災害時の対応を話し合いましょ

大雨の際の行動について、家族と話し合い、災害時の約束事を決めましょう。

### ⑦ 学校やご近所で考えましょ

学校やご近所で、災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。高齢者など、避難に援助が必要と思われる方についても、みんなでできることを考え、避難の際に協力しましょう。

### ⑧ 我が家の防災メモを完成させましょ

## 風水害時に役立つ情報

### ① 川崎市防災情報ポータルサイト(川崎市ホームページから)

- 市内の災害に関する緊急情報、被害情報、避難情報などを掲載します。
- 日頃からの備えや、川崎市の防災メニューなども紹介しています。
- 外出時の防災対策についてまとめた携帯版の備え、かわさきポータルを紹介しています。
- 過去10年間の浸水実績を公開しています。

### ② かわさき防災アプリ

川崎市の公式アプリのサービス「かわさき防災アプリ」では、災害時の緊急情報や避難情報などをプッシュ通知で受け取るほか、最寄りの避難所や各種ハザードマップを見ることができます。

### ③ メールニュースかわさき

- 川崎市から、市内の防災、気象、災害等の情報をメールでお知らせします。
- 配信希望する方は右記のメールアドレス(携帯電話・スマートフォン用URL)宛に空メールを送信してください。

### ④ 防災行政無線・防災テレホンサービス

- 防災行政無線とは、屋外にあるスピーカーから、市民の皆様へ避難情報や防災気象情報をお知らせするものです。
- 防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます(通話時は音声が流れます)。
- 020-010-174(通話料なし) 県内の一級加入電話
- 044-245-8870(通話料あり) 携帯電話、PH.S、県外の一級加入電話・公衆電話から

### ⑤ 国土交通省 京浜川河川事務所 河川の防災ページ

- 多摩川・鶴見川の浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、氾濫シミュレーションを見ることが出来ます。

### ⑥ その他

- 気象庁ホームページで警報・注意報発表の予測を確認することができます。
- ツイッター(アカウント:kawasaki\_bousai)、緊急通報メール、地上デジタル放送、ケーブルテレビ、かわさきFM(79.1MHz)でも、情報を発信します。

### ⑦ お問い合わせ先

避難に関すること	緊急連絡先
避難関係の高齢者管理室	044-200-6682
多摩区災害危機管理担当	044-935-3146
建設部長兼高層1階部河川課	044-200-2902
まちづくり推進課住宅地帯管理課	044-200-5035

# 洪水ハザードマップ(多摩区版)の変更について

洪水ハザードマップについて、平成30年3月の作成以降、法令の改正などにより記載内容に変更が生じております。ご覧の際は、最新の情報をご確認ください。

## ①避難情報の変更

災害対策基本法の改正により、令和3年5月20日から避難情報が変わりました。これに伴い、洪水ハザードマップ(情報面)の一部を変更しました。



(情報面)

## ▶ 避難情報と防災関係情報

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災関係情報		
			水位	洪水	降雨
5	既に災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動を取りましょう。	緊急安全確保 (川崎市が発令)	氾濫の発生 または切迫	氾濫発生情報	大雨 特別警報
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~					
4	危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示 (川崎市が発令)	氾濫危険水位	氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (川崎市が発令)	避難判断水位	洪水警報 氾濫警戒情報	大雨警報
2	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報等 (気象庁が発表)	氾濫注意水位		
1	災害の心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	水防団待機水位		

## ②土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域の変更

土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域」・「土砂災害特別警戒区域」及び急傾斜地法に基づく「急傾斜地崩壊危険区域」を神奈川県が指定(変更)しています。最新の区域は、県ホームページをご確認ください。



〔神奈川県土砂災害  
情報ポータル〕

URL : <https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>

## ③水位計・カメラの追加

最新の水位計・カメラの設置箇所については、市ホームページをご確認ください。



〔川崎市ホームページ  
水位計・カメラ〕

URL : <https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000107830.html>

## ○お問い合わせ先

洪水ハザードマップ全般に関すること	建設緑政局道路河川整備部河川課	044-200-2902
避難に関すること	総務企画局危機管理室初動対策担当	044-200-3682
土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域に関すること	神奈川県横浜川崎治水事務所 川崎治水センター	044-932-7211

(令和3年6月)